



第3分科会

子育て・親子のための 日本語教育の実践

さいたま市／親子の日本語教室

地球っ子クラブ2000

発表の流れ



1. 団体紹介

2. 取組紹介

3. 成果

4. 課題

いっしょに 学びましょう！

①②

地球っ子クラブ 2000

親子の日本語教室で、
子どもから大人まで参加できます。



大人は、日本語を勉強したり、学校の手紙を読んだりします。
子どもは、日本語や学校の勉強をします。



☆日本語で、ゲーム、料理、実験などもします。
☆自分の国のことばや友達の国のことばも大切にしています！

③

ここここ 多文化子育ての会 Coconico

国際結婚をした人や、
妊娠中や子育て中の外国出身の人が
情報交換したり、
子育ての仲間づくりをしたりしています。

☆ママの国のことばで 絵本・うた

☆料理を たのしもう！

☆みんなで ランチタイム



多言語で絵本の読み聞かせ
(南浦和図書館で)

④

多文化 Multi-cultural 多世代 Multi-generation

あそび舎 てんきりん



どなたもどうぞ！

☆“にほんご畑”

☆多言語で絵本を読みあう会

☆多文化カフェ “馬日香日”

☆手しごと ☆etc.

いっしょに おはなししましょう！

子どものこと・学校のこと・心配なこと
いつでも どうぞ！

①② 090-8804-4249 (たかやなぎ)

③ 080-6123-0175 (いのうえ)

④ 090-2415-8111 (はが)

①

地球っ子クラブ 2000 植竹

第2・第4土曜日
13:30-15:30

うえだけこうみんかん
植竹公民館

JR 土呂駅

(東武野田線 大宮公園駅)

②

地球っ子クラブ 2000 七里

第2・第4土曜日
10:00-12:00

ななさとこうみんかん
七里公民館

(東武野田線 七里駅)



さいたま市HPより

③

多文化子育ての会 Coconico

第1・第3・第5月曜日
10:00-14:00

コープブラザ浦和

(JR 南浦和駅)

④

あそび舎 てんきりん

毎週木曜日
10:30-13:30

てんきりん

JR 浦和駅

(バス停 太田産3丁目)

取組概要

★地球っ子クラブ2000

保護者を巻き込んだ、子どもの学びを支える環境づくり
～子育ての主役はお父さん・お母さん！～

- ①親子の日本語教室
- ②就学前日本語講座

★多文化子育ての会Coconico

子どもとともに成長する。イキイキ育児は育自！！

- ③産前産後交流会
- ④居場所・活躍の場・地域の人との交流

2. 取組紹介

①親子の日本語教室（地球っ子クラブ2000）



2. 取組紹介

②就学前日本語講座（地球っ子クラブ2000）



◆ 必要になってくる日本語場面 ◆

日本の学校教育制度、教育費、

進路・高校入試について

学校行事、給食

学校からのお手紙、連絡帳、通知表

親子のことば・・・

カリキュラム案

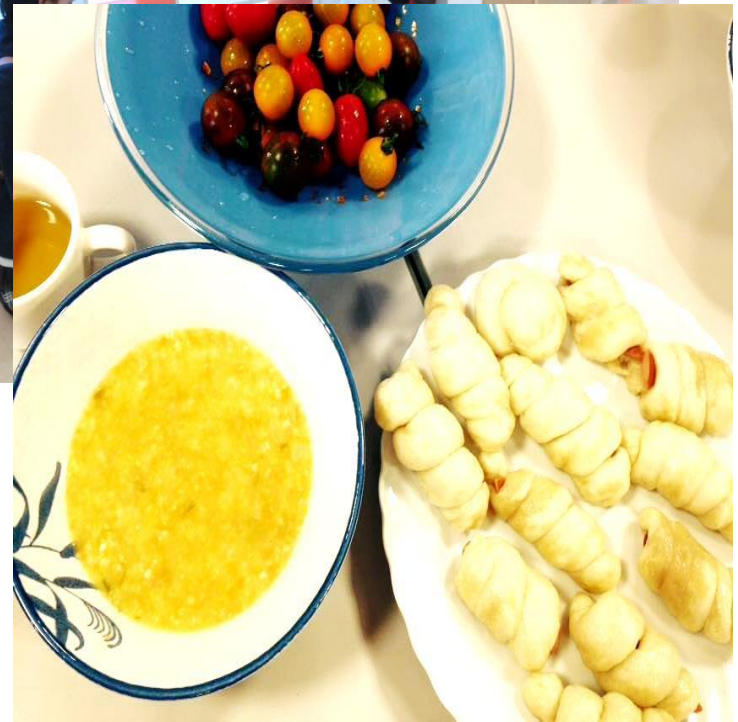
話題集

「多文化ハッピープログラム」

作成

2. 取組紹介

③ 産前産後交流会 (Coconico)



2.取組紹介

④居場所・活躍の場・地域の人との交流 (Coconico)



手遊び・絵本の勉強会
親子で楽しむ
→図書館で「多言語おはなし会」



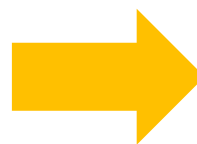
◆ 必要になってくる日本語場面 ◆

産婦人科、マタニティブック・母子手帳、
出産・産後の手続き、役所への届け出、
病院（予防接種・健診）、
離乳食、ベビーマッサージ、
幼稚園・保育園、おでかけ・・・

カリキュラム案

3. 成果

- 日本人スタッフが教える側になるとは限らない。

 学び合いの場・仲間づくりの場

- 活動・体験をして日本語が身につく。

- 社会に出ること、社会参加することで日本語ができるようになる。

 「わかる」だけでなく、「できる」ように！

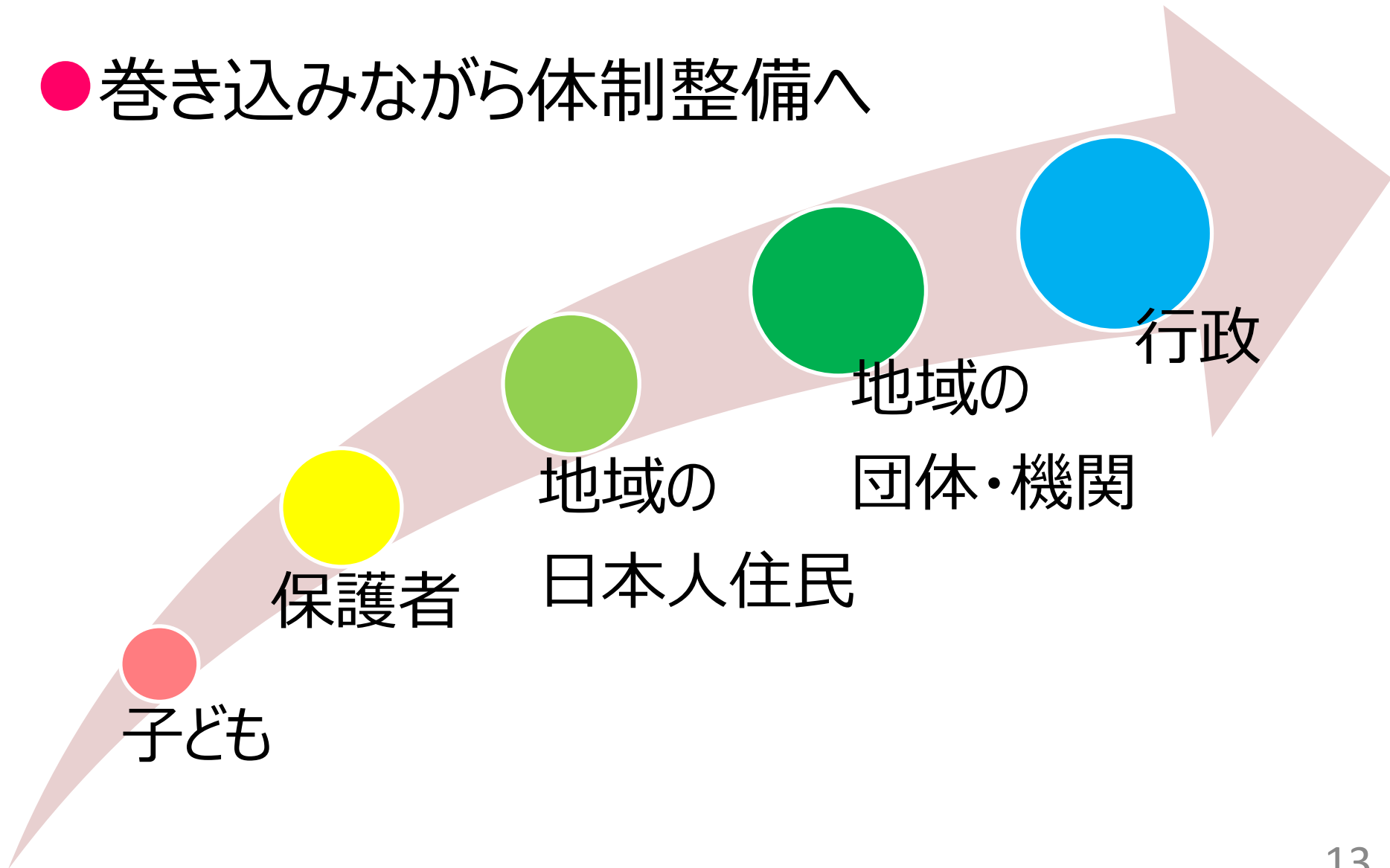
3. 成果

●他機関との連携

教育委員会、小学校、公民館、図書館、
埼玉県さいたま農林振興センター、
大崎公園・子供動物園、
さいたま市NPO法人エコエコなど

3. 成果

- 巻き込みながら体制整備へ

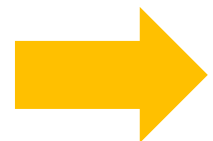


3. 成果

- 外に出ていくこと・社会参加することで
同じ地域に住む日本人の意識も変わる。
- ➡ 多文化共生社会にむけた一歩
- ➡ 意識的にそのような場をつくる必要性

3. 成果

- 母語・母文化を大切に思う気持ち、
保護者を尊敬する気持ちが育まれる。
- 本来持っている能力を日本でもいかし
自信を持って暮らす。

 親子がイキイキと日本で生活を送る

4. 課題

- 場を必要としている人に
 - ➡ 情報の発信方法の検討
 - ➡ つながる力（連携）
- 親子・子育て中の人が安心して学べる場・通える場
 - ➡ 体制整備
- 行政も地域も保護者も、皆で変えていくには？
 - ➡ 取組実践の継続



ご清聴ありがとうございました